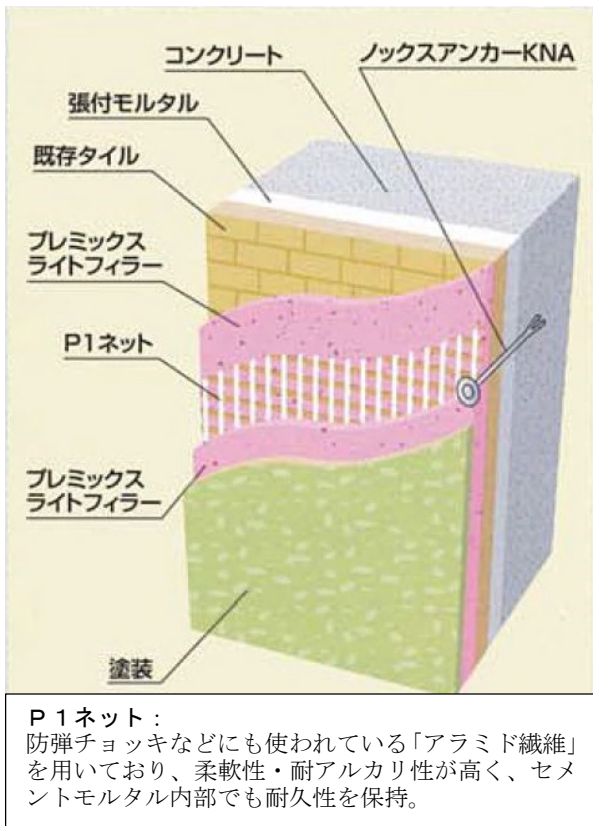




【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-189／2026年7月24日
【技術の名称】	外壁複合改修構工法 「ネットバリアー工法P1」
【依頼者（審査証明取得者）】	株式会社 リノテック

【技術概要】

本工法は、既存建築物の外壁仕上げ材を撤去せず、プレミックスライトファイラー（プレミックスポリマーセメントモルタル）を既存下地面に塗り付け、補強効果に優れたP1ネット（アラミド、ビニロン複合シート）を挟み込んだものからなる複合改修層を、耐食性・強度に優れたアンカーピンで躯体と物理的に固定することにより、外壁仕上げ層の補強と剥落防止を行い、その安全性を確保する改修構工法である。



本工法の構成イメージ

【適用範囲】

RC造、SRC造、壁式プレキャストコンクリート造の外壁仕上のうち、塗装仕上げ、モルタル塗り塗装仕上げ、湿式工法のタイル張り仕上げとする。

【開発の趣旨】

今後、需要の増加が見込まれる既存建築物の外壁改修工事において、仕上げ層の剥落に対する安全性を確実に担保する改修構工法の開発が望まれている。そこで、本開発では、鉄筋コンクリート系建築物の外壁改修工事の際、既存外壁仕上げ層（湿式工法のタイル仕上げやモルタル仕上げ）を存置したまま、ピンとネットを複合して用いることにより、ピンによる仕上げ層の剥落防止と、ネット繊維による既存仕上げの改修層の補強効果により、安全性を確保できる改修構工法の開発を目指す。また、既存仕上げ層を撤去しないことにより、工事に伴う廃棄物の量を低減でき、環境保全に資するものとする。

【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 建物高さ45m以下の外壁に作用する風圧力、地震力に対して、既存仕上げ材及び複合改修層の剥落を防止することができるものと判断される。
- (2) 既存仕上げ材と複合改修層の接着力を 0.7N/mm^2 以上確保し、複合改修層による既存仕上げ材の補強効果により剥落を防止することができるものと判断される。
- (3) 建物外壁に作用する温冷繰返し等に対して、既存仕上げ材及び改修層の剥落を防止することができるものと判断される。
- (4) 既存の仕上げ材を撤去しないため、振動・騒音及び廃材の発生を抑制し、一材化材料を使用するため廃材が低減されるものと判断される。
- (5) 標準施工マニュアルを定め、専門技術者による責任施工体制を確立しているものと判断される。

【本技術の問い合わせ先】

株式会社 リノテック 特販グループ

TEL：052-774-6621

FAX：052-774-6627

技術紹介サイト

<https://www.renotec.co.jp>

